



さかえ

学校便り NO. 9
令和8年 7月 9日
帯広市立栄小学校
文責 校長 新川 和範

今年度の重点:児童の願いに寄り添い、力を引き出す教育の実現 合い言葉:みんなヒーローになろう

一中エリア合同サミット開催

6月24日(水)に、帯広第一中学校のエリアに所属する帯広第一中学校、北栄小学校、啓北小学校、栄小学校の児童会・生徒会役員が出席し、児童会と生徒会が連携を深め、エリアでの活動の一層の充実を目指す合同サミットがオンラインで開催されました。本校からは児童会長、副会長の3名が参加しました。

今回の合同サミットでは、「誰もが安心できる学校に向けた取組」をテーマに、各校の取組の目的や成果(願い)について発表、交流しました。



本校の3名の役員は、本校の取組について丁寧に紹介するとともに、他の学校の取組についてしっかり聞くことができました。

画面越しの相手に対しても、しっかり挨拶したり、発表が終わると拍手したりするなど、栄小学校の児童を代表するのにふさわしい立派な態度で臨んでいました。3名の皆さん、お疲れ様でした。

朝読書の取組から

一中エリア・ファミリーでは、今年度「書くこと」と「読むこと(読み聞かせ)」が重点になっております。本校でもこの重点を踏まえ、全学級で毎週木曜日に朝読書に取り組んでおります。



ご家庭におかれましても、図書館を利用したり、読み聞かせを行ったり、親子で読書に親しんだりする等の配慮をお願いいたします。

子ども同士のお金やもののやりとりについて

昨年度もお知らせしましたが、本校では、日頃から児童に対し「児童同士で、お金や物をあげたりもらったり、貸したり借りたりするのはダメです。」と言葉かけをしています。

その理由として、学年の発達段階に応じ、以下のことを伝えていきます。



「なぜお金や物のやりとりをしていけないのか」というと、皆さんの持ち物は、お家の人を含めた大人が働き、稼いだお金の中から皆さんに与えてくれているものだからです。つまり、皆さんの持ち物は、大人の持ち物の一部なのです(所有権は大人にあるのです)。」

また、あげたりもらったり、貸したり借りたりしていることがわからなくなってしまい、トラブルに発展する場合がありますことも伝えていきます。大人は、お金や物のやりとりをする時、トラブルに発展しないように必ず文書に残しますが、児童は口約束がほとんどで、記憶も明確でないため、トラブルに発展することが多いのです。



さらに大人と子どもの物に対する興味のもちかたの違いもあります。どうしてこのような物が…と大人が思うような物を子どもがほしがったりします。自分が持っていない物に強い興味を示す場合も多くあります。ちなみに、その様なことを踏まえ、学校では、トラブルが起こらないよう、また授業中の集中力が低下しないよう、文房具については、キャラものではなく、ごくシンプルなものをおすすめしています(今回の話からややそれますが、シンプルな文房具の方が品質も良い場合が多いこともあり、そのことも理由の一つになっています)。

保護者の皆様におかれましても、お子さんをトラブルから守るため、子ども同士でお金や物のやりとりをしないよう、日頃から言葉かけをお願いいたします。

また子どもに自分の持ち物という意識、大切に扱う意識を高めるためにも、持ち物に記名をお願いいたします。

あいさつ運動に取り組みました



6月15日(月)～6月29日(月)の間の5日間に児童会事務局があいさつ運動に取り組みました。本校ではすでに「みんなヒーローになろう～あいさつ20に挑戦しよう!!」に取り組んでおりますが、更なる充実を図るということで、児童会事務局が自ら考え、今回の取組となりました。

あいさつをするとおみくじが引けるという企画もあり、児童は積極的にあいさつ運動に取り組んでいました。



エリア・ファミリー会議開催



帯広市では、中学校区をひとつのエリアと考え、各エリアにおける幼稚園、保育所(園)、児童保育センター、小学校、中学校の連携体制を強化するとともに、子どもを中心に据えた共通理解を図り、実効性ある取組を実践しております。本校は一中エリア・ファミリーに所属し、近隣10箇所の幼・保・小・中・学童と連携、協働しております。

6月24日(水)には、各事業所の所長(校長)によるエリア・ファミリー会議が開催されました。

その場では、今年度の重点を「書くこと」と「読むこと(読み聞かせ)」とすること、ノーメディアデーを今年度も実施すること、お互いの交流や研修を強化することなどが話し合われました。



今後も、話し合いの内容を教育活動に反映するなど、協働して取り組んでまいります。



さかえ HERO's 大活躍!!



今回も校外で活躍する栄のヒーローを紹介します。体育館の掲示はすぐにできていますが、学校便りへの紹介が遅くなって申し訳ありません。写真を撮った順番で紹介しますので、もう少々お待ちください。

ポスターを掲示しています

帯広市教育委員会から届いた「みんなで思いやりのある学校にしよう」ポスター。一人一人感じ方の異なる児童が集まっているのが栄小学校です。

そのような意味では、小さな社会といえると思います。

ポスターの内容を意識し、お互いを思いやる社会の一員に成長してほしいと願っています。



栄の会開催

6月24日(水)に第1回地域ネットワーク委員会(栄の会)を開催いたしました。この会は、本校の児童の成長を支えるため、各方面のボランティアの方々が集まり、今年度のボランティアの方針や活動内容を決める場となっています。



今年度も、老人会やふれあいの会、図書ボランティア、町内会、生涯学習推進委員、PTA等の皆様に参加していただき、夏休み自主学習会やさかえドンドンフェスタなどの企画を中心に、取組内容と協力体制の確認をしたところです。

栄の会の皆様、引き続きご協力の方、よろしくお願いいたします。

